

平成16年度 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

今回掲載したデータは、昨年度の調査結果(今年1月実施)であり、現小学校6年生と中学校3年生に対して、前学年時に行われたものです。

昨年7月20日発行の本紙では学校別の平均正答率も公表しましたが、今回は市全体の平均正答率、その結果の考察と授業改善のポイントを掲載します。なお、学校別の平均正答率は、都教育委員会の公表が年末または来年初めとなることを受け、市教育委員会では、この公表の方法を含め現在検討しています。

◆指導課(内線2635)

一 調査結果について

(1) 目的
すべての子どもたちに基礎的な学力を確実に身につけさせることは、学校教育の責務です。また、市教育委員会の基本方針4に示したように、この調査を、基礎的・基本的な学習内容の定着度を把握する重要な機会と位置づけ、分析結果を積極的に公表することとしています。

この時のデータを分析して「授業改善推進プラン」を作成し、生徒、保護者等に示し、授業改善や学力向上に取り組んでいきます。市教育委員会も、研究奨励事業や少人数学習集団による指導、教員研修会などの支援を学校に対して行っています。

二 調査結果の分析と考察

今回の調査結果から学力の定着状況は、総合的におおむね良好と考えられます。

(小学校)

(1) 調査全体の分析と考察
4教科の市全体平均正答率は、国語79.8%、社会82.7%、算数75.6%、理科77.0%でした。学習指導要領の5年生の目標、内容に照らした学習の状況は、国語・社会・理科に関しては良好でしたが、算数については、やや課題を残しました。

(2) 各教科の内容や観点(観点)の結果の分析と考察
①国語 観点ごとに見ると、他の観点と比較して「関心・意欲・態度」は高く、また、そのほかの4観点とも良好といえます。しかし、「何」という漢字の筆

順を問う問題では、正答率が34.1%でした。今後は、さらに積極的に辞書を活用する指導の充実を図るとともに、相手や目的を明確にした言語活動を充実させたり、登場人物の心情の読み取りや、要旨をとらえたりすることの指導の工夫が求められます。

②社会 結果は良好であると考えられます。しかし、文章が表す経路を地図上に当てはめて考える「簡単な地図の読み取り」や「東京都に隣接する県名」の問題は、正答率が6割台であり、統計資料や地図等の活用を通して理解を深めるなど、観察・資料活用を力養成する指導を一層充実させる必要があります。

③算数 結果は、やや課題を残すものとなりました。特に、 $4 \times 5 \times 2$ イ 1.3×0.5 $3.6 \div 0.8$ の計算問題では、正答率が「ア54.6%、イ66.6%、ウ84.9%」でした。

(中学校)

(1) 調査全体の分析と考察
5教科の市全体平均正答率は、国語80.6%、社会72.7%、数学67.2%、理科68.2%、英語73.8%でした。国語・社会・英語に関しては良好でしたが、数学・理科に関してはやや課題を残しました。

(2) 各教科の内容や観点(観点)の結果の分析と考察
①国語 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

②社会 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

(中学校)

③数学 総合した正答率は7割を下回り、やや課題があると見えます。観点ごとに見ると、読みやすいく分りやすい文章を書く力を育てる指導が必要です。④理科 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

読みやすいく分りやすい文章を書く力を育てる指導が必要です。④理科 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

⑤英語 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

⑥理科 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

(小学校)

⑦算数 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

⑧理科 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

⑨英語 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

(中学校)

⑩国語 結果は良好であると考えられます。しかし、他の観点と比較して「読む能力」「書く能力」にやや課題がありました。

小学校			
教科	観点	都全体	市全体
国語	全体	78.9	79.8
	国語への関心・意欲・態度	93.6	94.4
	話す・聞く能力	86.7	88.1
	書く能力	77.2	77.9
	読む能力	77.5	78.3
言語についての知識・理解・技能	75.1	76.0	
社会	全体	81.3	82.7
	関心・意欲・態度	92.6	93.1
	思考・判断	82.0	83.0
	資料活用の技能・表現	78.7	79.9
	知識・理解	77.3	79.7
算数	全体	75.9	75.6
	関心・意欲・態度	90.4	90.5
	数学的な考え方	64.5	64.9
	表現・処理	77.5	77.1
	知識・理解	76.1	75.4
理科	全体	76.0	77.0
	関心・意欲・態度	94.3	94.4
	科学的な思考	78.5	79.2
	技能・表現	67.3	68.5
	知識・理解	74.7	76.6

中学校			
教科	観点	都全体	市全体
国語	全体	79.5	80.6
	関心・意欲・態度	94.1	95.0
	話す・聞く能力	79.7	79.6
	書く能力	73.6	74.0
	読む能力	75.5	76.3
言語についての知識・理解・技能	80.6	82.2	
社会	全体	70.6	72.7
	関心・意欲・態度	91.5	92.7
	思考・判断	63.3	64.5
	資料活用の技能・表現	81.3	83.5
	知識・理解	60.8	63.9
数学	全体	65.3	67.2
	関心・意欲・態度	84.9	85.2
	見方・考え方	58.4	60.6
	表現・処理	70.3	72.4
	知識・理解	54.8	57.0
理科	全体	67.0	68.2
	関心・意欲・態度	90.0	90.5
	科学的な思考	65.0	67.0
	観察・実験・技能・表現	67.0	66.2
	知識・理解	60.7	62.6
英語	全体	72.4	73.8
	関心・意欲・態度	90.6	91.6
	表現の能力	61.8	67.4
	理解の能力	68.1	68.9
	知識・理解	74.4	75.5



方程式を解く上で、等式の性質の理解を問う問題の正答率が36.0%で、理解が十分に図られていないことがわかりました。「数学的な見方や考え方」との関連を図り、機械的な計算練習を重視した指導を改善し、基礎的な事項の性質について十分な理解を図る指導が必要です。

④理科 結果は、やや課題があると考えられます。観点ごとに見ると、「関心・意欲・態度」は、9割を超え良好ですが、他の3つの観点にはやや課題がありました。「科学的な思考」では、火山の形からマグマの性質(粘り気)を推定する問題の正答率が51.2%でした。

また、「観察・実験の技能・表現」では、ルーベの使い方と目的にあったスケッチができるかを問う問題で、正答率が49.2%と低く、観察・実験に必要な器具や計器の基本操作に関する指導に課題がありました。「知識・理解」では、酸とアルカリを混ぜると中和することや、中性になった溶液の性質を

